

## 活動紹介

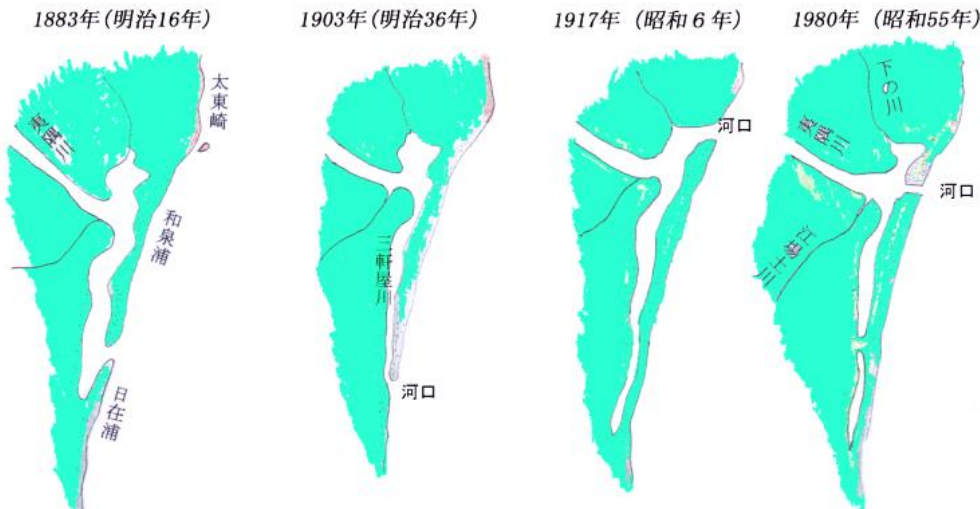
NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	海辺の植物観察～夷隅川河口でスカシユリなどをみてみよう		
開催日時	2022年7月24日(日) 9時30分～12時		
開催場所	県立いすみ環境と文化の里/いすみ市太東崎	一般参加者	2名

### 活動概要

いすみ市の国指定天然記念物「太東崎海浜植物群落」及び周辺の海辺の植物とその環境を観察しました。

かつて、いすみ川は暴れ川で、河口付近は大きく変化してきました。また、大正9年に指定



された、「太東崎海浜植物群落」の区域も浸食され、現在、指定当時の1/10程度の面積(0.6ha)となっています。海浜植物の生育環境としては、砂浜、砂礫浜、海岸崖地、塩湿地など変化に富み、それぞれの環境に適応した海浜植物が見られます。

いすみ市立長者小学校資料より ※現在の長者小学校の学区は江戸時代の夷隅川が境(現在より北に大きく蛇行)



スカシユリ(ユリ科)  
背が低く花は上を向いて咲く



ハマボウ(アオイ科)  
7月中旬から花が見られる



ハマヒルガオの種子は水②浮く  
種子に空洞があり海流散布



ハマナデシコ

### 自然砂丘形成のメカニズム『千葉県の自然誌本編5 千葉県の植物2』P340

コウボウムギ・コウボウシバ・ハマヒルガオなどの植物

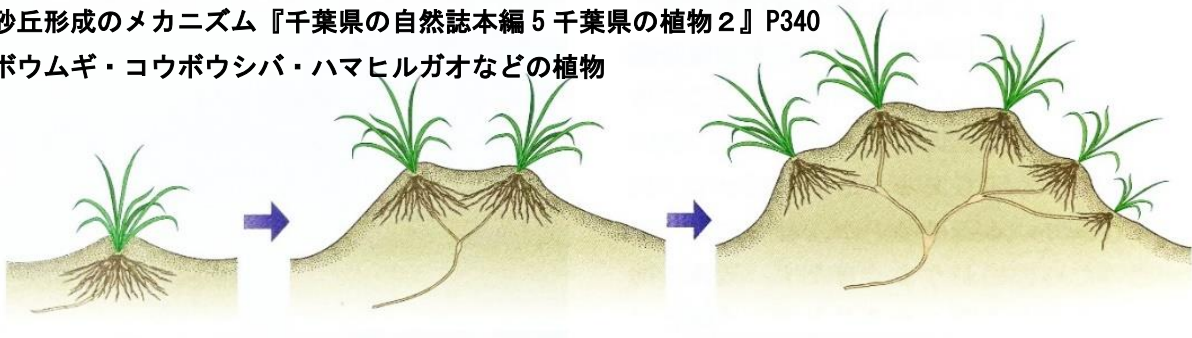


図5-53 植物による砂丘の形成  
砂浜の植物は砂に埋没すると伸長して砂の上に出てくる。砂の上に出ると砂がたまりやすくなり再び埋没する。埋没と伸長を繰り返しながら砂丘が成長する

F I C 講師：寺嶋嘉春